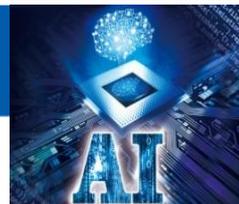


グローバルAIファンド
 グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）※



ますます注目の高まるAI（人工知能）

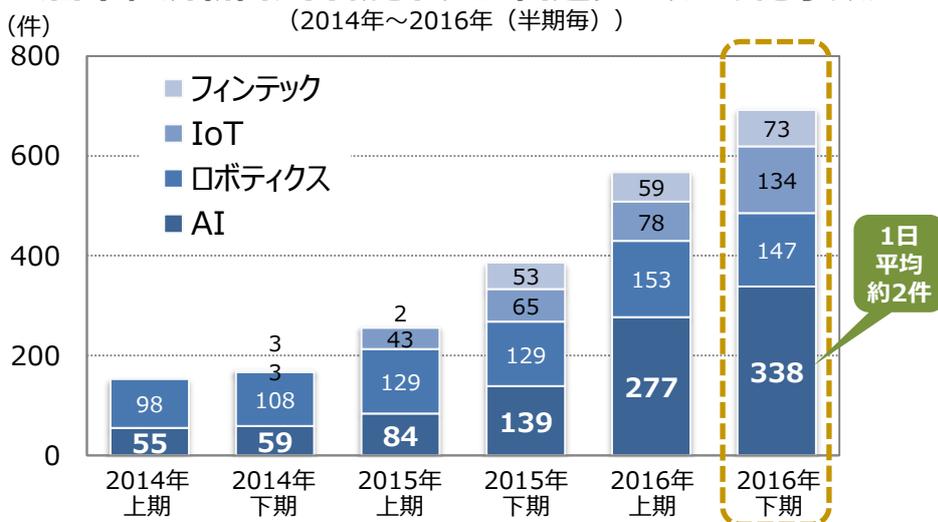
平素より「グローバルAIファンド」および「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」（以下、当ファンド）を、ご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。以下、当ファンドのマザーファンドの運用を実質的に担当する、アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S. LLC（以下、アリアンツ）のコメントをもとに、組入銘柄のご紹介等を行います。

※グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）の設定は2017年2月10日です。以下、「グローバルAIファンド」を（為替ヘッジなし）、「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」を（為替ヘッジあり）と呼ぶことがあります。

ロボティクス、IoT、フィンテックを抑え、AIの注目度はトップクラス

- 昨年（2016年）下期中、新聞でAI関連の記事を見ない日は、まもなくなかったという印象です。
- 日本経済新聞の朝夕刊の見出しの数を調べると、昨年下半年においてAI関連記事は338件ありました。
- 平均すると1日あたり約2件でした。AI関連記事を毎日見たという印象は間違いではなかったようです。
- ロボティクス、IoT、フィンテックなどの他のIT関連注目テーマと比べてもAI関連の記事数は、はるかに多く増加数も最大でした。
- この傾向は2017年も続きそうです。

＜日本経済新聞に掲載されたIT関連テーマ別の記事数＞



(注) 日本経済新聞の記事の見出しをテーマ毎に集計。複数テーマを含む記事は重複して集計しています。
 (出所) 日本経済新聞

注目の高いIT関連の記事には、AIが寄り添うように登場します



ロボティクスとAI

- AI搭載ロボットが観光案内-大阪で実証実験
- AIを実装したロボット、自動車などのスマートマシンによる社会づくり



IoTとAI

- 製造業の未来-IoTと、AIで実現するスマートなモノづくり
- IoTの可能性を広げる、AI活用の最新事例



フィンテックとAI

- 資産形成をAIが助言するロボットアドバイザーに関心が高まる
- 日本でもAIを活用したレンディングサービス（貸出業務）がスタート



自動運転車とAI

- 国内自動車メーカー各社が相次ぎAI搭載車を発表
- 自動運転車用「AI」半導体を制するのは誰か？

(出所) 各種資料

2017年、AIはさらに身近な存在となり、注目が高まりそうです

- AIは、徐々に身近な存在になっており、工場やオフィスなどビジネスの現場では、AI関連製品を利用することが増えていますが、日常生活でAIを感じることは、まだ少ないかもしれません。
- 2017年1月に米国ラスベガスで開催された家電見本市では、AIを活用した家電が注目を浴びており、今後は日常生活で触れる機会の多い、家電や自動車を通してAIがもっと身近な存在となると思われます。
- 2017年、AIは、さらに進化し、注目が高まると予想しています。

※掲載した写真およびイラストは、イメージであり、本文とは関係ない場合があります。

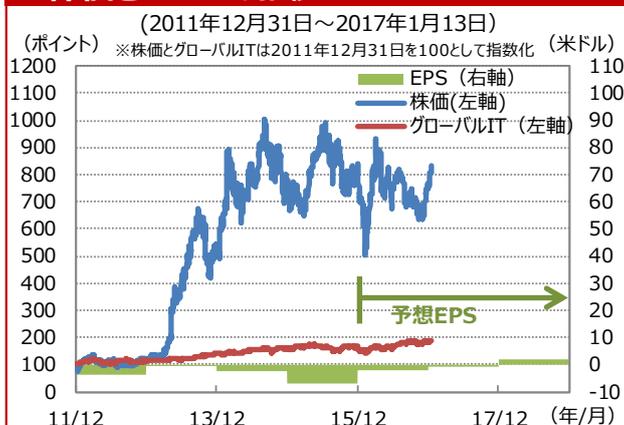
※上記の見通しは当資料作成時点のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

組入上位6銘柄の紹介①

(1) テスラ・モーターズ<米国企業、ナスダック>

〔 組入比率第1位 5.0% 〕

株価とEPS^{*1}の推移

主な投資指標

| | |
|------------------------------|------|
| 今期予想PER ^{*2} (倍) | 赤字 |
| 中期予想EPS成長率 ^{*3} (%) | 30.0 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR ^{*4} (倍) | 13.2 |

ひとことという

AI自動車メーカー

事業内容と注目ポイント

自動運転車の開発会社。自動運転車の開発に関してAI技術を活用している。また、「フリート・ラーニング」機能によって、同社の自動運転車が互いに情報を共有したり、自動車業界で初めて自動的に各種ソフトウェアを更新するOTA (Over The Air) サービスの提供を行っている。2017年末に価格を抑えた量産タイプ「モデル3」の納車が予定されている。

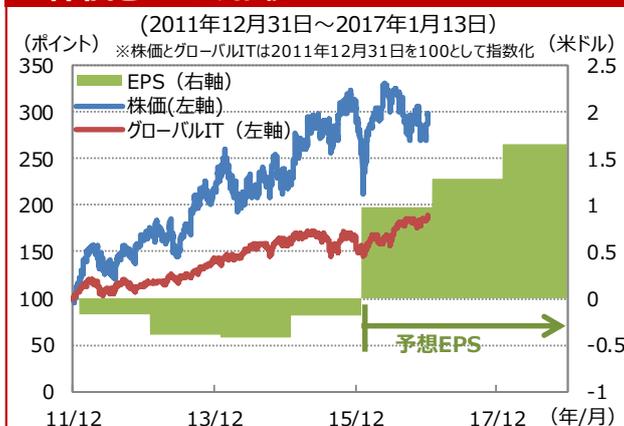
売上と利益の成長率

| 決算期 (基準) | 2014年12月 (実績) | 2015年12月 (実績) | 2016年12月 (予想) | 2017年12月 (予想) | 2018年12月 (予想) |
|------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 売上高成長率 (%) | 58.8 | 26.5 | 68.9 | 36.1 | 69.0 |
| EBITDA ^{*5} 成長率 (%) | 1.0 | 赤字化 | 黒字化 | 93.7 | 88.3 |

(2) セールスフォース・ドットコム<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔 組入比率第2位 4.4% 〕

株価とEPSの推移



主な投資指標

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 77.3 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 25.6 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 7.7 |

ひとことという

AI営業アシスタント

事業内容と注目ポイント

営業職員が顧客、売上げ、経営等に関するデータの管理に活用するCRM (顧客管理) ソフトを提供。積極的にAI関連企業の買収を推進してきており、AI機能を活用したEinsteinという製品を発表。たとえば、顧客データを分析してスコアリングした結果を自動的に表示して、AIによる提案、推奨する機能を持っており、営業部員はそれをもとに訪問先を決めたり、おすすめの商品を選んだりする仕組み。

売上と利益の成長率

| 決算期 (基準) | 2015年1月 (実績) | 2016年1月 (実績) | 2017年1月 (予想) | 2018年1月 (予想) | 2019年1月 (予想) |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 売上高成長率 (%) | 32.0 | 24.1 | 25.6 | 21.3 | 19.1 |
| EBITDA成長率 (%) | 263.1 | 111.7 | 165.7 | 27.6 | 21.3 |

* 1 EPSは1株あたり利益。* 2 PERは株価収益率。* 3 中期予想EPS成長率はEPSの今後3-5年間の予想平均成長率。* 4 PBRは株価純資産倍率。

* 5 EBITDAは償却引当営業利益。

(注1) 組入比率と順位は2016年12月30日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。

(注2) グラフ中のEPSは各日付の属する会計年度末の実績EPSと予想EPS。

(注3) 主な投資指標、売上と利益の成長率は2017年1月13日時点。グローバルITはMSCI AC World 情報技術セクター。

(出所) Bloomberg、アリアンツのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は2016年12月30日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および、当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

組入上位6銘柄の紹介②

(3) フェイスブック<米国企業、ナスダック>

〔 組入比率第3位
4.2% 〕

株価とEPSの推移



主な投資指標

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 31.2 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 32.4 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 6.8 |

ひとことという

AIのソーシャル・ネットワーク

事業内容と注目ポイント

ソーシャル・ネットワーキング・ウェブサイトを運営する。AIプラットフォームのプロバイダーであり、AIの発展により最も恩恵を受ける企業のひとつ。人工知能 (AI) や機械学習機能の開発に取り組んでおり、40以上のプロジェクトが進行中。同社は、他の大手テクノロジー企業のアマゾン、アルファベット (グーグル)、IBM、マイクロソフトと共に人工知能に関する研究及びベストプラクティスの普及を目指しAIに関するパートナーシップを発表している。

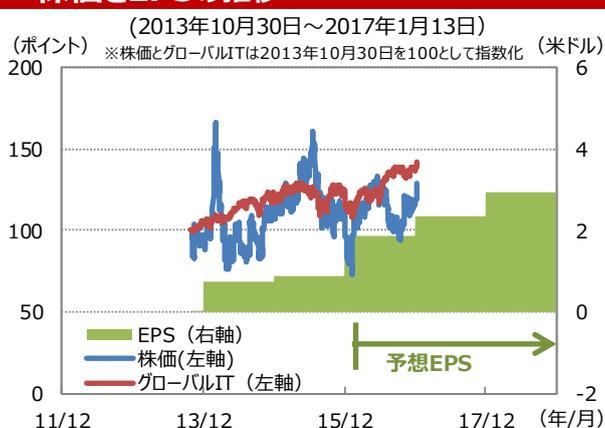
売上と利益の成長率

| 決算期 (基準) | 2014年12月 (実績) | 2015年12月 (実績) | 2016年12月 (予想) | 2017年12月 (予想) | 2018年12月 (予想) |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高成長率 (%) | 58.4 | 43.8 | 52.4 | 34.4 | 26.0 |
| EBITDA成長率 (%) | 63.5 | 31.0 | 120.2 | 27.4 | 28.3 |

(4) クリテオ<フランス企業、ナスダック>

〔 組入比率第4位
4.2% 〕

株価とEPSの推移



主な投資指標

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 24.5 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 25.8 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 5.1 |

ひとことという

AI広告代理店

事業内容と注目ポイント

フェイスブック最大の戦略的パートナーで、同社の広告収入ビジネスを裏で支えるAI広告代理店。クリック課金型のリターゲティング広告配信システム「CRITEO (クリテオ)」を世界130か国以上で展開している。独自の人工知能をベースにしたアルゴリズムとエンジンを使い、cookie (インターネットの訪問履歴等) の情報を活用してユーザー一人一人の嗜好や興味に合わせ、最適なバナー広告を自動的に表示させることが特徴。

売上と利益の成長率

| 決算期 (基準) | 2014年12月 (実績) | 2015年12月 (実績) | 2016年12月 (予想) | 2017年12月 (予想) | 2018年12月 (予想) |
|--------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高 [*] 成長率 (%) | 69.7 | 32.4 | 34.0 | 28.3 | 18.8 |
| EBITDA成長率 (%) | 153.6 | 35.9 | 46.9 | 30.8 | 31.0 |

*クリテオの売上高は「トラフィック獲得コスト」を除いた実質売上高。

(注1) 組入比率と順位は2016年12月30日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。

(注2) グラフ中のEPSは各日付の属する会計年度末の実績EPSと予想EPS。

(注3) 主な投資指標、売上と利益の成長率は2017年1月13日時点。グローバルITはMSCI AC World 情報技術セクター。

(出所) Bloomberg、アリアンツのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は2016年12月30日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および、当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

組入上位6銘柄の紹介③

(5) スプラク<米国企業、ナスダック>

〔 組入比率第5位 3.9% 〕

株価とEPSの推移



主な投資指標

| | |
|----------------|-------|
| 今期予想PER (倍) | 173.1 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 44.5 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 9.4 |

ひとことという

AIの胃腸

事業内容と注目ポイント

膨大なマシンデータを収集、監視、分析、可視化して、AIが栄養として吸収できる形に変える技術を持った、AIの胃腸のような企業。データを取り込む際に不可欠な、検索、相関判断、モニタリング、レポートングのできるソフトウェアを開発しており、AIがビッグデータを消化するための「胃腸」の役割を果たしている。最近では、マシンデータの分析能力の重要性がより注目されており、同社製品はこの点で競争優位性がある。

売上と利益の成長率

| 決算期 (基準) | 2015年1月 (実績) | 2016年1月 (実績) | 2017年1月 (予想) | 2018年1月 (予想) | 2019年1月 (予想) |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上高成長率 (%) | 49.0 | 48.3 | 39.4 | 26.9 | 26.7 |
| EBITDA成長率 (%) | 赤字継続 | 赤字継続 | 黒字化 | 61.3 | 47.2 |

(6) イェルプ<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔 組入比率第6位 3.6% 〕

株価とEPSの推移



主な投資指標

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 57.3 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 29.7 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 4.2 |

ひとことという

AIの地元案内所

事業内容と注目ポイント

世界の主要都市において、レストランやエンターテインメントなどの情報を収集し、評価するサービスを行う。独自開発したAIにより、膨大な量のレビューを整理・分析・評価し、ユーザーへの推奨精度の向上を目指している。2016年第3四半期の売上高は前年比30%増を達成。

売上と利益の成長率

| 決算期 (基準) | 2014年12月 (実績) | 2015年12月 (実績) | 2016年12月 (予想) | 2017年12月 (予想) | 2018年12月 (予想) |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高成長率 (%) | 62.0 | 45.6 | 29.7 | 25.5 | 20.5 |
| EBITDA成長率 (%) | 988.5 | -71.1 | 1266.3 | 46.6 | 38.5 |

(注1) 組入比率と順位は2016年12月30日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。

(注2) グラフ中のEPSは各日付の属する会計年度末の実績EPSと予想EPS。

(注3) 主な投資指標、売上と利益の成長率は2017年1月13日時点。グローバルITはMSCI AC World 情報技術セクター。

(出所) Bloomberg、アリアンツのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は2016年12月30日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および、当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

その他組入銘柄の紹介① (組入比率 第7~11位)

(7) ツイッター<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第7位 3.5%〕



【ひとことについて】

AI広告プロモーター

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 33.1 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 34.1 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 2.7 |

【概要および、主な注目点】

短文投稿サービスを世界中で提供しており、より利用者の関心を引くニュース・フィードを表示させるべく、人工知能や機械学習を活用。企業売却を模索する中での決算発表となったが、モバイル事業が好調となった広告売上高、ライセンス・フィーも増加となった。今回の大統領選挙でも情報発信に活用されたことは有名。

(8) ギガモン<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第8位 3.5%〕



【ひとことについて】

AIネットワーク警備員

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 35.9 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 33.5 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 6.7 |

【概要および、主な注目点】

ネットワークの単一のエリアに特化した既存のソリューションと異なり、企業のネットワークを、主にセキュリティ確保の観点からより総合的、かつ網羅的にコントロールし、可視化できるソリューションを提供している。

(9) アルファベット クラスA<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第9位 2.8%〕



【ひとことについて】

AIの検索基盤

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 24.0 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 16.4 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 4.3 |

【概要および、主な注目点】

グーグルとグーグルが所有していた複数企業の親会社として設立。検索エンジン、オンライン広告最大手かつ、携帯、地図、メール、クラウド、音楽、ゲーム、動画等あらゆるWebサービスを提供。AI、自動車、ヘルスケア、スマートシティ、金融分野等にも布石を打つ。

(10) ウェスタン・デジタル<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第10位 2.7%〕



【ひとことについて】

AIを支える半導体メーカー

【主な投資指標】

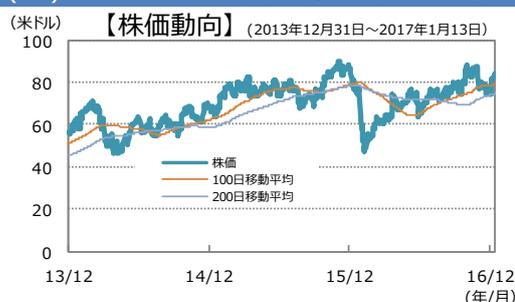
| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 10.1 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 6.2 |
| 今期予想配当利回り (%) | 2.8 |
| 実績PBR (倍) | 1.9 |

【概要および、主な注目点】

データストレージ業界のパイオニア企業。AIコンピューティング・システムには膨大なデータが必要とされるが、構造化データと非構造化データを大量に保存するための最も有効なソリューションを提供。静音でかつ低温、低消費電力等の環境を考えた製品の提供も行う。

(11) サービスナウ<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第11位 2.6%〕



【ひとことについて】

AIヘルプデスク

【主な投資指標】

| | |
|----------------|-------|
| 今期予想PER (倍) | 120.4 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 35.3 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 38.3 |

【概要および、主な注目点】

パナソニック・インフォメーションシステムズや金融大手のGEキャピタル、スタンダード・ライフなどが採用する、AIを使ったITベースのヘルプデスク。AIを導入することで自動応答の精度を高め、更に効果的な問題解決の実現を可能としている。2016年第3四半期の売上高は、前年比37%増となるなど堅調な伸びを見せている。

(注) 組入比率と順位は2016年12月30日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。主な投資指標は2017年1月13日時点。

(出所) Bloomberg、アリアンツのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は2016年12月30日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および、当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。



その他組入銘柄の紹介② (組入比率 第12~16位)

(12) マイクロセミ<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第12位 2.3%〕



【ひとことについて】

AIを支える半導体メーカー

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 14.9 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 17.3 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 3.7 |

【概要および、主な注目点】

データセンターおよび通信インフラ市場を中心に幅広い分野の半導体およびモジュールのサプライヤー。同社の製品/ソリューションは、低消費電力と世界初のミックスド・シグナル、高セキュリティを有しており、データセンター内の省電力・高機能化に貢献し、広範囲の分野におけるAIの進展を可能にしている。

(13) パロアルトネットワークス<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第13位 2.3%〕



【ひとことについて】

AIセキュリティ

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 49.3 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 38.2 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 13.8 |

【概要および、主な注目点】

企業や政府機関などにネットワーク用セキュリティのインフラ製品を提供。これまでの一般的なセキュリティでは、既に知られたタイプの攻撃にしか対応できず、新たなタイプの検知には時間がかかっていたが、人工知能を活用することでファイルの特徴などから判断が可能となり、検知時間の短縮に成功している。

(14) スクエア<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第14位 2.2%〕



【ひとことについて】

AIクレジット・カード決済

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 赤字 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 20.0 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 10.2 |

【概要および、主な注目点】

あらゆる規模・業種の事業向けに対応した財務管理ソフトウェアの開発、決済サービスを提供。イヤホンジャックに挿して使用できるICカードリーダーと、POSシステムなどで簡単に決済が出来るユニークなサービスを展開し、決済処理サービスとソフトウェアツールを多くの事業者者に提供しており長期的な成長が見込まれている。

(15) レッド・ハット<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第15位 2.2%〕



【ひとことについて】

AIの現場監督

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 32.4 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 16.6 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 10.3 |

【概要および、主な注目点】

Linuxベースの企業向けオペレーティング・システムや関連するシステム管理サービスのオープン・ソース・ソフトウェアとサービスを提供している。AI関連の新たなアプリケーションはAI産業の発展を支えている。2016年度第3四半期の売上高は前年同期比18%増と堅調な伸びを示している。

(16) ゼンデスク<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第16位 2.2%〕



【ひとことについて】

AIカスタマー・サービス

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 赤字 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 24.3 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 7.9 |

【概要および、主な注目点】

同社のソフトはEメール、チャット、会話、SNS、ウェブサイトなどを通じて顧客のデータを集約し、効果的なカスタマー・サービスを提供できるソフトウェアを開発。利用者からの問い合わせに迅速に対応できるロボットなど、人工知能の分野に積極的に投資を行っている。同社は、中小企業のニーズの取り込みに成功している。

(注) 組入比率と順位は2016年12月30日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。主な投資指標は2017年1月13日時点。

(出所) Bloomberg、アリアンツのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は2016年12月30日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

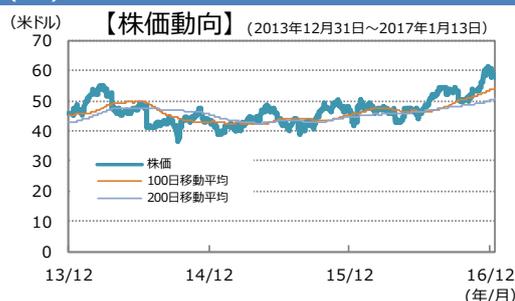
※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および、当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

その他組入銘柄の紹介③ (組入比率 第17~20位)

(17) ザイリンクス<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第17位 2.1%〕



【ひとことについて】

AIを支える集積回路

【主な投資指標】

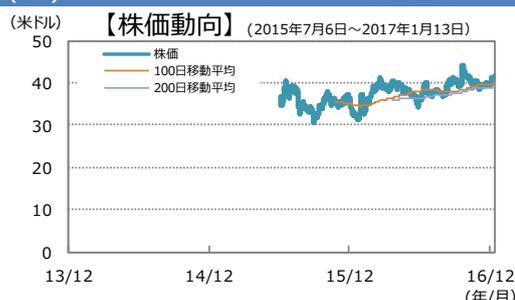
| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 25.9 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 7.9 |
| 今期予想配当利回り (%) | 2.4 |
| 実績PBR (倍) | 5.6 |

【概要および、主な注目点】

同社の製品は宇宙開発、軍事、商業、自動車など様々な広範な分野で使用される、主に購入者や設計者が構成を後からプログラム可能な集積回路 (FPGA) を設計している。同社の製品は、AIアプリケーションを高速・効率化させる「アクセラレータ」として用いられ、中国の百度 (バイドゥ) も同社製品を採用している。

(18) ペイパル・ホールディングス<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第18位 2.1%〕



【ひとことについて】

AI決済サービス

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 27.7 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 16.0 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 3.5 |

【概要および、主な注目点】

世界中でモバイル決済サービスを提供。同社のプラットフォームは、スマートフォン、タブレット、PC、ウェアラブルなどの様々なプラットフォームで、いつでも決済が可能。同社は機械学習とAIを利用して財務リスクを管理し、不正行為を検出する。同社は、より安全なサービスを提供するため、AIへの投資を拡大している。

(19) アリスタ・ネットワークス<米国企業、ニューヨーク証券取引所>

〔組入比率第19位 2.0%〕



【ひとことについて】

AI界の技術顧問

【主な投資指標】

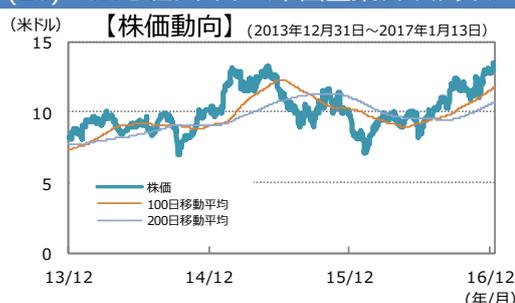
| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 32.7 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 19.2 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 7.0 |

【概要および、主な注目点】

次世代型データ・センター機器とクラウド・ネットワーク・サービスを大手インターネット企業向けに提供。Googleやフェイスブックなど大手AI開発企業の技術提携先として有名。2016年第3四半期の売上高は、市場予想を大幅に上回り、第4四半期の業績予想も大幅に上方修正。

(20) ONセミコンダクタ<米国企業、ナスダック>

〔組入比率第20位 1.9%〕



【ひとことについて】

AI半導体チップメーカー

【主な投資指標】

| | |
|----------------|------|
| 今期予想PER (倍) | 16.1 |
| 中期予想EPS成長率 (%) | 19.6 |
| 今期予想配当利回り (%) | 0.0 |
| 実績PBR (倍) | 3.2 |

【概要および、主な注目点】

自動車用、産業用および、コンピューティング・セグメントに展開するICメーカー。同社のチップは、AIシステムの基礎となる重要なコンポーネントとして使用され、特に、市場の成長が著しいADAS (先進運転システム) 分野で使用されるイメージセンサー向けの需要が拡大している。

(注) 組入比率と順位は2016年12月30日時点。組入比率は当ファンドの純資産総額を100%として計算。主な投資指標は2017年1月13日時点。
(出所) Bloomberg、アリアンツのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は2016年12月30日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および、当資料作成時点の予想ならびに見通しであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。



その他組入銘柄の紹介④（組入比率 第21位～52位）

| 組入比率順位 | 銘柄名 | 業種 | 国 | 上場市場 |
|--------|------------------|------------|------|-------------|
| 21 | インチュイト | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 22 | アマゾン・ドット・コム | 一般消費財・サービス | 米国 | ナスダック |
| 23 | マイクロン・テクノロジー | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 24 | アテナヘルス | ヘルスケア | 米国 | ナスダック |
| 25 | アカシア・コミュニケーションズ | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 26 | コーナーストーン・オンデマンド | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 27 | ニールセン・ホールディングス | 資本財・サービス | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 28 | レンディングツリー | 金融 | 米国 | ナスダック |
| 29 | ニュアンス・コミュニケーションズ | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 30 | ワークデイ | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 31 | ベリスク・アナリティクス | 資本財・サービス | 米国 | ナスダック |
| 32 | アクシオム | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 33 | エキファックス | 資本財・サービス | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 34 | ニュー・レリク | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 35 | イクスペディア | 一般消費財・サービス | 米国 | ナスダック |
| 36 | ジュニパーネットワークス | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 37 | タブロー・ソフトウェア | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 38 | アンバレラ | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 39 | グルーボン | 一般消費財・サービス | 米国 | ナスダック |
| 40 | ファイア・アイ | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 41 | パンドラ・メディア | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 42 | マイクロストラテジー | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 43 | サーナー | ヘルスケア | 米国 | ナスダック |
| 44 | ウイエイムウェア | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 45 | EPAMシステムズ | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 46 | ホートンワークス | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 47 | ケイデンス・デザイン・システムズ | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 48 | ガイドワイア・ソフトウェア | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 49 | ヤフー | 情報技術 | 日本 | 東京証券取引所 |
| 50 | フォーティネット | 情報技術 | 米国 | ナスダック |
| 51 | コンピューターサイエンス | 情報技術 | 米国 | ニューヨーク証券取引所 |
| 52 | キャップ・ジェミニ | 情報技術 | フランス | パリ証券取引所 |

※以上、組入銘柄総数52銘柄。

(注) 組入比率順位は2016年12月30日時点。

(出所) Bloomberg、アリアンツのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※上記は2016年12月30日時点の当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を当資料作成時点で保有、あるいは今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。



(ご参考) 当ファンドの基準価額の推移

- (為替ヘッジなし) の基準価額は、設定日 (2016年9月9日) 以降、10月末頃までは、10,000円を挟んで推移していました。
- 米国大統領選挙後は、トランプ政権への期待から米国株式市場は堅調に推移しており、当ファンドの基準価額も上昇が続いています。

(為替ヘッジなし) ＜基準価額の推移＞

(2016年9月9日 (設定日) ~2017年1月20日)



(注1) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。

(注2) (為替ヘッジなし) は2017年1月20日現在において分配を行っておりません。

(注3) (為替ヘッジあり) は2017年2月10日新規設定のため、基準価額の推移は掲載しておりません。

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ 当ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは10ページおよび、当ファンドの投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

ファンドの特徴

1. 世界の上場株式の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
 2. AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S.LLCが実質的な運用を行います。
 3. 対円で為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジなし）と（為替ヘッジあり）の2つのファンドからご選択いただけます。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのリスクおよび留意点

基準価額の変動要因

ファンドは、主に内外の株式を投資対象としています（マザーファンドを通じて間接的に投資する場合を含みます。）。ファンドの基準価額は、組み入れた株式の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

※ 基準価額の変動要因として、○価格変動リスク（株式市場リスク/信用リスク）、○為替変動リスク、○カントリーリスク、○市場流動性リスク等があります。詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の投資リスクをご覧ください。

お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

| | |
|------------------|---|
| 購入・換金の日 申込受付日 | 原則として、申込不可日を除きいつでも購入、換金の申込みができます。 |
| 購入単位 | 販売会社または委託会社にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額となります。 |
| 換金単位 | 販売会社または委託会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額となります。 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目以降にお支払いします。 |
| 申込不可日 | ニューヨークの取引所またはニューヨークの銀行の休業日のいずれかに当たる場合には、購入、換金の申込みを受け付けません。 |
| 決算および配 | 年1回（毎年9月25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 |
| 信託期間 | （為替ヘッジなし） 2016年9月9日から2026年9月25日まで （為替ヘッジあり） 2017年2月10日から2026年9月25日まで |
| 繰上償還 | 委託会社は、受益者にとって有利であると認めるとき、各ファンドにつき残存口数が10億口を下回ることとなったとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、あらかじめ受益者に書面により通知する等の所定の手続きを経て、繰上償還させることがあります。 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。 ただし、販売会社によっては当ファンドをNISA、ジュニアNISAでの取扱い対象としない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。 |

ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

① 投資者が直接的に負担する費用

| | |
|---------|---|
| 購入時手数料 | 購入価額に 3.24%（税抜き3.0%）を上限 として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

② 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | |
|------------------|---|
| 運用管理費用 （信託報酬） | ファンドの純資産総額に 年1.89%（税抜き1.75%） の率を乗じた額 |
| その他の費用・ 手数料 | 上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。 |

※ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

委託会社、その他の関係法人

【委託会社】三井住友アセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。）

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【受託会社】株式会社りそな銀行（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）

【販売会社】委託会社にお問い合わせください。（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

【投資顧問会社】アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC（マザーファンドの運用指図に関する権限の一部委託を受け、信託財産の運用を行います。）

販売会社

■ グローバル A I ファンド

| 販売会社名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業 協会 | 一般社団法人 金融先物取引業 協会 | 備考 |
|--------------------|---------------------------|---------|----------------------------|-------------------------|-------------------------|----|
| S M B C 日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| S M B C フレンド証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第40号 | ○ | ○ | | | |
| 株式会社 S B I 証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | | ○ | |
| 香川証券株式会社 | 金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号 | ○ | | | | |
| カブドットコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号 | ○ | | | ○ | |

■ グローバルA Iファンド

| 販売会社名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業 協会 | 一般社団法人 金融先物取引業 協会 | 備考 |
|----------------|------------------------------|---------|----------------------------|-------------------------|-------------------------|----|
| くんぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2938号 | ○ | | | | |
| ごうぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第43号 | ○ | | | | |
| 静銀ティーエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号 | ○ | | | | |
| スターツ証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第99号 | ○ | | | | |
| 第四証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第128号 | ○ | | | | |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第20号 | ○ | | | | |
| 東洋証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号 | ○ | | | | |
| 八十二証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第21号 | ○ | | ○ | | |
| 浜銀T T証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1977号 | ○ | | | | |
| 百五証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号 | ○ | | | | |
| ひろぎんウツミ屋証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第20号 | ○ | | | | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | | ○ | ○ | |
| 水戸証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号 | ○ | | ○ | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第8号 | ○ | | | | |
| 株式会社大光銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第61号 | ○ | | | | ※1 |
| 株式会社武蔵野銀行 | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第38号 | ○ | | | | |

※1 2017年2月13日よりお取扱いを開始する予定です。

■ グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

| 販売会社名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業 協会 | 一般社団法人 金融先物取引業 協会 | 備考 |
|-------------------|------------------------------|---------|----------------------------|-------------------------|-------------------------|----|
| S M B C日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| S M B Cフレンド証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第40号 | ○ | ○ | | | |
| 株式会社S B I証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | | ○ | ※1 |
| 香川証券株式会社 | 金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号 | ○ | | | | |
| ごうぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第43号 | ○ | | | | |
| 静銀ティーエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号 | ○ | | | | |
| スターツ証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第99号 | ○ | | | | ※2 |
| 第四証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第128号 | ○ | | | | |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第20号 | ○ | | | | |
| 東洋証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号 | ○ | | | | |
| 八十二証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第21号 | ○ | | ○ | | |
| 浜銀T T証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1977号 | ○ | | | | |
| 百五証券株式会社 | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号 | ○ | | | | |
| ひろぎんウツミ屋証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第20号 | ○ | | | | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | | ○ | ○ | |
| 水戸証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号 | ○ | | ○ | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ※3 |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第8号 | ○ | | | | |

※1 2017年2月22日よりお取扱いを開始する予定です。

※2 2017年2月20日よりお取扱いを開始する予定です。

※3 2017年2月17日よりお取扱いを開始する予定です。

重要な注意事項

■当資料は、三井住友アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。■投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。■当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2017年2月10日

